



ほほえみ



社会福祉法人苫前町社会福祉協議会 苫前郡苫前町字旭37番地の1 苫前町役場内

TEL 0164-64-2387 FAX 0164-64-9090 ホームページ <https://www.protech-web.co.jp/homepage/tomamae>

■福祉体験学習が行われました

毎年度実施されている古丹別小学校（石田正樹校長）4年生の福祉体験学習（学社融合事業）が、6月25日、社協職員が講師役となって行われました。

11名の児童は、3つのグループに分かれて車いす体験、視覚障害体験、高齢者体験の3種類のメニューを順番に疑似体験しました。車いすに試乗して操作方法を学んだり、アイマスクを着けて白杖の感触を頼りに歩いたりといった体験を経て、ハンディキャップを持つ人の気持ちや、支える人としての気持ちなどについて、お互いの感想を共有しながら、学習を深めました。



■老人福祉功労者表彰状授与式

7月8日、令和2年度老人福祉功労者表彰状授与式が苫前町公民館で開催されました。

例年、留萌地区老人クラブ大会の席上で表彰されているところですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で同大会が中止となったため、苫前町老人クラブ連合会の主催による授与式の開催が企画されたものです。



工藤政尚苫前町老人クラブ連合会会長の式辞に続き、古丹別幸楽会の榎本イサさんと古村マツエさん、長島老人クラブの水谷靖さんと加藤満さんの受章者4名に表彰状と記念品が授与され、来賓の渡部一男苫前町社会福祉協議会会長から祝辞をいただきました。

最後に、受章者を代表して水谷靖さんが「表彰の趣旨を心に刻み、さらに老人クラブ活動と地域福祉の向上に尽くしていきたい。」との謝辞を述べられ、関係者の祝福に包まれた和やかな雰囲気の中に閉式となりました。

■苫前ひぐまハムクラブの収集ボランティア活動について

今年、設立40周年を迎えた苫前ひぐまハムクラブの加藤隆雄会長、鈴木満事務局長が7月17日に社協を訪問され、収集ボランティア活動により会員や地域住民から寄せられたペットボトルキャップ及びリングプルをお預かりしました。

ペットボトルキャップは美唄市にあるリサイクル事業者へ、リングプルは町内で収集活動をしている苫前小学校へ、それぞれ贈らせていただきました。



■車いすを寄贈いただきました



道新販売所深川留萌地区会（倉本茂子会長）から社協に車いす1台の寄贈があり、7月30日、苫前・阿部新聞店の阿部俊一さんがお届けくださいました。

同会はリングプル回収による車いす寄贈活動を10年以上続けておられ、町内では平成26年にグループホーム優芽さんが寄贈を受けて以来6年振りのこととなります。

いただいたアルミ製車いすは自走・介助兼用で、発泡ウレタン製のノーパンクタイヤが採用されたメンテナンスが容易なモデルです。今後、介護保険等の公的サービスでは車いすを利用できない住民の方を対象とした貸出事業などで活用させていただきます。ありがとうございました。

■招魂祭が斎行されました

8月18日、苫前町戦没者追悼式に先立って、苫前町遺族会の主催による招魂祭が苫前神社境内の忠魂碑前で斎行されました。

富士敦朗苫前町長、阿部俊一苫前町議会議長、伊藤通康平和の鐘奉賛会会長を来賓に迎え、苫前町遺族会の森晃一会長ほか会員8名が参列しました。

斎主が祝詞を奏上し、参列者一人ひとりが玉串を捧げ、慰霊の祈りを捧げるとともに平和への誓いを新たにしていました。



■見守り情報の内容は更新されていますか？

社協では、緊急時に迅速に医療関係情報などを救急隊員等に提供できるよう、「見守り情報」を専用のボトルに収め、分かりやすいように冷蔵庫に保管しておくという事業を、すべての町民を対象に実施しています。

「見守り情報」には、生年月日、性別や血液型といった基礎情報に加え、かかりつけ医や持病、服薬の状況のほか、加入している医療保険や介護保険サービスの利用状況などを記録しておくことができますが、少なくとも半年に一度は記載内容の確認、見直しをお勧めしています。

現在利用中の皆さんからの内容更新についてのご依頼、ご相談のほか、新規の利用開始についても受け付けていますので、社協までお気軽にお問い合わせください。



■赤い羽根共同募金にご協力をお願いします！

今年度も10月1日より、赤い羽根の共同募金運動が全国一斉に実施される予定です。

この募金運動は戦後にスタートし、今年度で第74回目を迎えます。お寄せいただいた募金は社会福祉協議会等が実施する地域福祉活動をはじめ、障害者等の施設の車両購入などに使われるほか、一部は「災害等準備金」として積み立てられ、大規模災害発生時に被災地のボランティアセンターの活動支援のために活用されています。地域住民の皆様には、共同募金運動の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、苫前町共同募金委員会では、寄付金付きピンバッジや募金箱の設置にご協力いただける事業所や店舗を随時募集していますので、お気軽にお問い合わせください。



■ボランティア活動をはじめてみませんか？

ボランティア活動には様々なものがありますので、ご自身で興味のあることや日ごろ気になっていることなどから、自分に合った活動を探してみてください。

苫前町ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい個人・団体の相談に応じていますが、ボランティア活動に来て欲しいといった受入側の要望などについてもお寄せください。

なお、ボランティア活動の際にはボランティア活動保険への加入をお勧めしていますが、センターに個人ボランティア・ボランティア団体として登録いただくと、保険料をセンターの負担で加入することができますので、お気軽にお問い合わせください。

○苫前町社会福祉協議会のボランティア募集

・事業運営補助

～ふれあい倶楽部などの高齢者福祉事業において、事業運営を手伝っていただく方を募集しています。最初は事業の様子の見学からでも構いませんので、ご連絡をお待ちしています。

・配食サービス補助

～週1回、高齢者の見守りを兼ねてお弁当（夕食）をお届けするサービスの配達員を募集しています。見守り先（配達先）1件当たり200円の有償ボランティアになります。

■ふれあい倶楽部のお知らせ

10月12日、今年度第1回目となります「ふれあい倶楽部」を開催します。

内容は、創作活動（樹脂粘土工作）と運動（ヨガのリズム）を予定していますが、詳しくは別途町内に回覧しますので、そちらもご確認ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、急きょ開催を中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



本とあそぼう

10月の本とあそぼう事業は、毎年人気の手形カードづくりです。

- 日時** 10月3日(土) 10:00～11:00
場所 苫前町公民館図書室
内容 ミニおはなし会、手形カード作り、運動能力トレーニング
対象 幼児と保護者、小学生ほか
参加料 無料
申込み 申込みは不要です。当日、会場にお越しください。



公民館講座「考古学教室出前講座」

道立埋蔵文化財センターの出前講座で実施している「考古学教室」を開催することとなりました。

土器・石器類を実際にふれたり勾玉作りを体験してみませんか？

- 日時** 10月17日(土) 9:30～12:00
場所 苫前町公民館講堂
講師 道立北海道埋蔵文化財センター 坂本 尚史 氏
対象 小・中学生(ただし、小学3年生以下は保護者同伴)
持ち物 汚れても良い服装・ハンドタオル
参加料 無料
申込み 10月8日(木)までに苫前町公民館へお申し込みください。



健康づくり推進地域支援事業 正しく学ぶ!筋力トレーニング講座(第4回目)

筋力トレーニングに興味があり、正しい方法を身につけたい!ダイエットの方法やしきみを知りたい!!

- 日時** 10月31日(土) 13:30～14:45
場所 苫前町公民館
講師 健康運動指導士 澤田 友紀 氏
 (札幌スポーツ&メディカル専門課長)
対象 一般町民(小学生は、保護者同伴)
参加料 無料(スポーツ安全保険にご加入ください)
申込み 10月23日(金)までに苫前町公民館(65-4076)へお申し込みください。



筋肉トレーニング講師
澤田友紀 氏

～あなたの学びを応援します～

苫前町公民館

☎ 65-4076・FAX 65-3220

Email shakaikyoiku@town.tomamae.lg.jp

秋の全国交通安全運動の実施

(1) 「秋の全国交通安全運動」が実施されます！

- 運動期間
9月21日（月）～9月30日（水）の10日間
- 運動重点
 - ア 子供と高齢者の安全な通行の確保
 - イ 高齢運転者の交通事故防止
 - ウ 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
 - エ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - オ 飲酒運転の根絶

(2) 交通事故防止のポイント

- ドライバーの皆さんへ
 - 夕方から夜間にかけて、歩行者や自転車の見落としや発見遅れによる交通事故を防ぐために対向車や前車がない時は、ライトをハイビームに切替えましょう。
 - 特に、右から横断してくる歩行者に注意しましょう。
 - 運転する前に、同乗者全員がシートベルトやチャイルドシートを正しく着用しているか確認しましょう。
- 歩行者の皆さんへ
 - 横断前に左右をよく確認しましょう。
 - さらに、道路中央で左をまた確認しましょう。
 - 外出する時は、明るい服装や反射材用品を身に付けましょう。
- 飲酒運転は悪質な犯罪です。「飲酒運転をしない、させない、許さない」を徹底し、二日酔い運転を含めた飲酒運転を根絶しましょう。

(3) 9月30日は、「交通事故死ゼロを目指す日」です！

一人一人が交通ルールを正しく守り、思いやりのある交通マナーで、交通事故死ゼロを目指しましょう。

(4) 知っていますか？北海道自転車条例！

- 自転車に乗るときは、子供はもちろん大人も乗車用ヘルメットをかぶり、夜間は自転車の側面に反射器材をつけるようにしましょう。
- 万が一に備えて、自転車損害賠償保険等に加入するようにしましょう。

問い合わせ先 羽幌警察署 ☎0164-62-1110

イベントカレンダー

9月→10月

日	月	火	水	木	金	土
9月						
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	10月 1	2 特定健診・胃・肺・大腸がん検診 (公民館)	3 特定健診・胃・肺・大腸がん検診 (福祉センター)
4 特定健診・胃・肺・大腸がん検診 (公民館)	5	6 ラッコクラブ③	7 1歳6ヶ月児・3歳児健診 (公民館)	8	9 健康相談(公民館) 午前10時～午前11時30分	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20 健康相談(福祉センター) 午前10時～午前11時	21	22	23	24

*日程は変更となることがありますので、予めご確認ください。

狩猟期間中における国・道有林への入林自粛について

エゾシカ狩猟期間中（10月1日から3月31日まで）は、多くの狩猟者が国・道有林へ入林します。狩猟に伴う事故防止のため、この期間の狩猟目的以外での入林はお控えくださるようお願いいたします。エゾシカによる森林等被害を低減するため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

■問合せ先

林野庁北海道森林管理局留萌南部森林管理署 ☎：0164-42-2515
北海道水産林務部森林環境局道有林課道有林管理係 ☎：011-204-5519（直通）

アイヌの方々からの様々なご相談をお受けします

アイヌの方々のための専用フリーダイヤル
相談専用電話 0120-771-208
受付 月曜日～金曜日（※祝日、12/29-1/3を除く）
時間 午前9時～午後5時
●相談無料 ●匿名可 ●秘密厳守
公益財団法人 人権教育啓発推進センター
〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4階
◆本相談事業は、(公財)人権教育啓発推進センターが、厚生労働省生活相談充実事業により実施するものです。

ハロウィンジャンボ5億円

(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ1千万円

(1等1千万円)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円
9月23日(水) 2種類同時発売!

発売期間 9/23(水)～10/20(火)

公益財団法人北海道市町村振興協会

ふるさと魅力再発見！キャンペーン 実施中!!

実施期間

第2期

2020

9.19(土)



11.9(月)

留萌振興局管内
を巡ってスタンプを集めよう!!

- ・スマホのGPS機能を使ったスタンプラリー!
- ・チェックポイントは全部で24カ所!
- ・スタンプ6個から応募可能!

※スタンプ数(「6個」「12個」「18個」「24個」)に応じて賞品が異なります。

参加はこちら!! ➡

#ふるキャン 留萌振興局
をつけて、SNSに投稿しよう!!

- ・新北海道スタイルを実践しながら楽しんでいる様子や地元グルメ文化などの写真をSNSに投稿!

※振興局公式Instagram「RuRutime」もぜひご覧ください

■問合せ先：留萌振興局地域政策課 ☎ 0164-42-8421

国勢調査のお知らせ

10月1日(木)、5年に1度の国勢調査が全国一斉に行われます。

国勢調査は、日本に住む全ての人を対象とする、国の最も重要な統計調査です。調査の結果は、少子高齢化対策、災害対策、雇用政策などさまざまな分野で活用されます。

9月中旬から順次、調査員が皆様のお宅に調査書類を配布に伺いますので、回答のご協力をお願いいたします。

今回の調査では新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、特別な事情がある場合を除き、**インターネット**又は郵送での回答をお願いいたします。

また、感染拡大防止のため、調査員訪問時に不在の世帯については郵便ポスト等に調査書類を配布することがありますのでご了承くださいませようよろしくお願いいたします。

■問合せ先：総合政策室
☎ 64-2212

Let's Join!!

#みんなの国勢調査

インターネット回答期間 9/14(月)～10/7(水)

調査票(紙)での回答期間 10/1(木)～10/7(水)

国勢調査2020

<https://www.kokusei2020.go.jp/>

苫前小学校児童の作品

『どうぶつえんのせかい』

1年

どうり
原野 權史 くん

どうぶつえんのそばに、とうきょうタワーをつくりました。じょうずにできました。



『めいろのせかい』

1年

ゆいと
佐藤 由都 くん

スタートちてんやワープコースをつくりました。まがりかどがじょうずにできました。



『ぞうさんの1日』

2年

たかひろ
堀切 太陽 くん

ぞうさんのかたちと足が上手にできました。また、わたでくもをはるところも上手にできました。



『切っでかき出し・くっつけて~[たん生日]』

3年

さな
佐藤 早夏 さん

クリップを使って、ぼうしの中をあけるところをがんばりました。「おめでとう」をじょうずにかけたので見てほしいです。



『切っでかき出し・くっつけて~[おにがしま]』

3年

とうま
新村 童生 くん

竹ぐしを使っておににてんをつくれしました。いっぱいてんがついているところを見てほしいです。



『ゆたかな いなか町』

4年

ゆめか
芳賀 夢夏 さん

注目してほしいところは、人がおたまじゃくしを見ているところと列車です。列車は一番むずかしかったけれど、線路や列車の形を上手く表せました。



『まぼろしの花』

4年

わかこ
出野和香子 さん



だれも見たことのないクルクルした葉をかいて、まぼろしの花を表しました。スポンジでかいた背景のサクラと、葉のグラデーションを見てほしいです。

『田植えをする自分』

5年

のあ
三上 望愛 さん



私がこの絵でがんばったところは、影のところです。工夫したところは、服に光が当たっているように色をぬるところです。帽子の色をかえるところが1番うまくできました。

『サーカス会場』

6年

そうすけ
大田 蒼輔 くん

背景の建物の色違いを工夫したり、ピエロや左右の旗をカラフルにすることを頑張りました。クランクの動きを考えて作ったり、細かい部分も丁寧に描いたりできたので、自分では上手にできたと思います。



新型コロナウイルス感染防止にご協力をおねがいします。 『新しい生活様式』の実践をお願いします！

「新北海道スタイル」はじめよう



ご自身の症状に不安がある場合は、次の窓口にご相談ください。

	電話番号	開設時間
体調についての相談 ○苫前町保健福祉課	専門窓口ではありません 0164-64-2215	平日 8:30~17:15
帰国者・接触者相談センター		
○留萌保健所	0164-42-8310	平日 8:45~17:30
○北海道保健福祉部 健康安全局地域保健課	011-204-5020	24時間
○厚生労働省電話相談窓口	0120-565-653 (フリーダイヤル)	9:00~21:00 (土日祝も含む)